

どうぶつこうえんニュース

 **千葉市動物公園**
Chiba Zoological Park

第2号



動物公園の めざすもの

宗 近 功

千葉市動物公園園長



千葉市動物公園は「動・植物とのふれあい」をテーマとして計画し、建設してまいりましたが、昭和60年4月28日、全体計画面積33.5ヘクタールの内、約20ヘクタールを開園いたしました。

開園がゴールデンウィークの初日とかさなったため、大変な混雑となりました。その後6ヶ月がすぎた今日では普通の状態にもどり、園も動物達もおちついてまいりました。

これからはソフトの面の充実が必要となりますので、現在までの状況をふりかえってみたいと思います。

動物園の社会的機能としましては次の4つがあげられます。

1. レクリエーションの場
2. 研究の場
3. 教育の場
4. 自然保護の場

そして、これに最近では5番目の機能として「自然認識の場」が加えられる様になってきました。

これは近代化にともない、世界的に人口が都市に集中し、今や大都市から自然が消失し、都市住民は自然に触れる機会が少なくなっています。このような大都市の中で動物公園は市民が自然を知る門戸としての役割があるわけです。来園した方々は動物公園で自然の美しさと尊大性を認識してもらうことが大切なのです。したがって、劣悪な飼育環境や品位のない展示では逆効果となってしまいますので、生態的で審美的な展示が重要となるわけです。この様な動物公園の社会的機能のなかで21世紀を展望すれば、ますます自然保護と社会教育の役割が重要となってきますので、千葉市動物公園といたしましてはこの様な来園者のニーズに答えるよう職員一同一丸となって努力して行きたいと考えておりますのでご期待下さい。

表 紙

レッサーパンダ…………… 1

ごあいさつ…………… 2

開園して…………… 3

開園記念特別講演について…… 4

動物たちとの1日
—サマースクール—…………… 5

新着動物一覧…………… 6
出生動物一覧…………… 6

飼育日誌から…………… 7
健康管理センターから…………… 7

行事予定…………… 8
動物公園案内…………… 8

表紙の動物

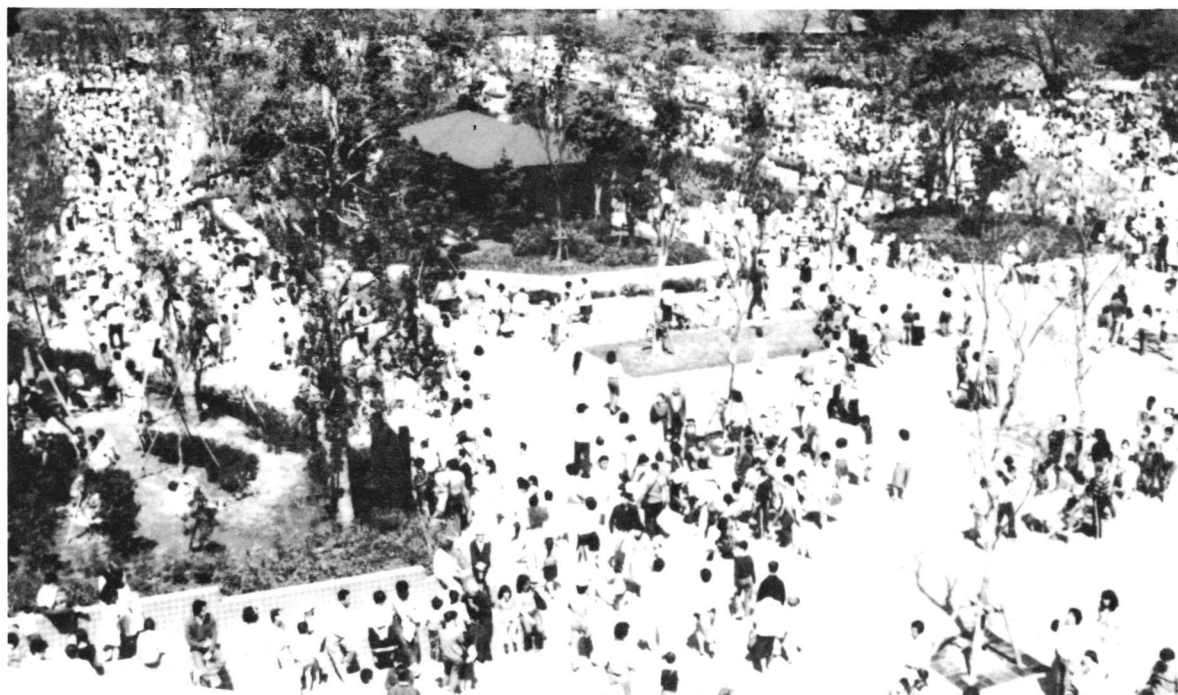
●レッサーパンダ

アライグマの仲間、体長50～60cmで40cm位の長い尾をもつ愛らしい顔をした動物です。彼らは中国の西南部やネパール、インド、ビルマの海拔2,000～3,000mの高山に生息しています。木に登るのが上手で主に木の上で生活しています。巣は木のほら穴や岩の割れ目などを利用します。主に竹の葉や茎、果実、草木の根など食べますが、昆虫や鳥などをつかまえてたべることもあります。交尾期は春で90～145日の妊娠期間ののち2～3頭の子を産みます。

飼育動物数

(9月30日現在)

哺乳類	62種	310点
鳥類	55種	250点
爬虫類	5種	34点
両生類	4種	7点
魚類	1種	5点
総計	127種	606点



▲開園直後のにぎわい



▲子供動物園で人気の高いフンボルトペンギン



▲ニホンザルのいるサル山



▲子供動物園のヤギ君

ゴールデン・ウィーク中には25万人もの来園者があり、予想を上まわる好調なスタートをした千葉市動物公園も、ようやく本来のおちつきをとりもどしてまいりました。

なかでも子供達に人気があるのは子供動物園で、直接動物に触れることができるため子供の歓声が一日中たえることがありません。

新しく多数の動物達も仲間入りし来園者の方に喜ばれております。

また講演、映画、サマースクール等の行事を開催し多くの方に参加していただきました。

開園記念特別講演について

動物公園のオープンを記念して、5月6日から6月2日にかけての毎日曜日、各界の著名な方がたによる講演会が、動物科学館レクチャールームで催されました。ここでの統一テーマは「We love Animals」。最新の音響・映像施設、そしてゆったりとした座席を備えた当ホールは、ご招待のお客様もお迎えし、活気にあふれました。それぞれの立場からのご意見やご提言にうなずき、熱心にメモをとるかたもいました。

以下にその講演の内容をご紹介します。



岩本久則

1941年生まれ
漫画家
著書「岩本流野鳥観察手帳」
など

どんな動物でも、動物に対する興味や関心を持ち続け、それを深めていくことが動物を理解し守っていくことにつながる。たとえば、ダチョウという鳥なぜ飛べないのだろう、キリンの首はなぜあんなに長いのだろう、これをひとつひとつ解きあかしていくことで自然が見えてくる。トキの例をもちだすまでもなく、動物を守っていくことは人間の義務であり、千葉市動物公園がその役割を果たしていくことを希望する。

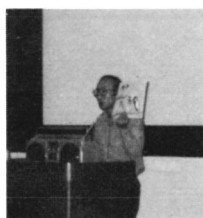


羽仁進

1928年生まれ
映画監督
著書「ぼくが動物に学んだこと」など

子どもの頃から動物が好きだった私は、22年前に映画撮影のためアフリカに行く機会を得た。はじめの頃は動物が怖いばかりで撮影どころではなかったが、マウンテンゴリラとの出会いによって初めて動物の立場に立って考えることを知り、その後、いろいろな動物の撮影ができるようになった。

生きている動物に対する愛情こそ、すばらしい動物園づくりに必要なことである。



市田則孝

1946年生まれ
日本野鳥の会事務局長

スズメ、カラス、ムクドリなど身近な鳥も、よく見ているようで実はあまりよく見てはいない。ほんのちょっと気をつけて見てみることで、それぞれの鳥の生

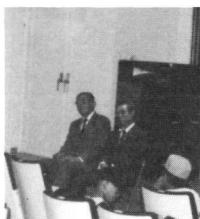
活や体の特徴をよく知ることができ、楽しいものだ。そして、図鑑などで調べて、その鳥の名前を知るとなると、鳥の世界への関心も深まって楽しみもふえる。



小原秀雄

1927年生まれ
女子栄養大学生物学教授
著書「生物が一日一種消えていく」など、訳書も多い。

私たち人間は、だれしも小さいうちは動物が好きなのに、だんだん大人になるにしたがって残念なことに好きでない人がでてきてしまう。しかし、それは動物のことをよく知らないために「こわい」とか「きらいだ」という気持ちがでてくるためだ。本当に動物が好きでかわいがるといえることは、その動物の気持ちをわかってあげることであり、気持ちをわかるためには動物のことをよく知る必要がある。動物が本来もつ習性や性質をよく知って、自然界の中でもよりよく生かしていく知恵を人間はもたなくてはならない。



正田陽一（写真 右）

1927年生まれ
東京大学農学部教授
著書「家畜という名の動物たち」

浅倉繁春（写真 左）

1928年生まれ
上野動物園園長
著書「動物たちの世界」など

動物園の動物の楽しみかたとして、動物そのものを見るだけでなく、オリの中の雑草のなくなり具合で動物の生活の様子を知るなど、動物の暮らしの場を見ることをおすすめする。また、たびたび動物園を訪れて、動物たちと友だちになり、動物の方でも自分の存在を覚えてくれるようになることも楽しみかたのひとつだ。

（正田 陽一）

ペニフラミンゴの人工哺育の試みを通じて、自然界の子育ての絶妙さを知ることができた。動物園でも、たとえばニホンザルの社会的順位などは観察できる。たとえ動物園で飼育されている動物たちにも、自然界の法則が貫かれた生活を見いだすことは可能であり、そのような目で動物たちをぜひ見てほしい。

（浅倉 繁春）

さらに、講演会最終日のこの日、お二人からヨーロッパやアメリカの美しく素晴らしい動物園の様子がスライドで紹介されました。これら動物園の豊富な緑や美しい環境に目を見はりましたし、稀少種の繁殖研究が数多くなされているなど、今後の動物園の社会的使命についても深く考えることができました。

動物たちとの1日

サマースクール



▲バードホールでの鳥の説明

7月23日	体験クラス	小学1～2年生	10名
7月26日	体験クラス	小学3～4年生	10名
7月30日	見学クラス	小学1～2年生	20名
8月2日	見学クラス	小学3～4年生	20名



▲ポニーのブラッシング



▲スイギュウのえさやり

サマースクールにさんかして、ウサギをだ
いた時、毛はかたか、たけれど、体温はあた
たかでした。モルモットは、ももやわらかで
体温もあたかでした。

そのあと、ペンギンのエサやりをしました。
私が、魚をあげると、飛び上がってギョー。
中には、ドジなペンギンもいます。
何びきあげても全部落としてしまいました。
乙もかりいかっただす。

動物公園ではじめてのサマースクールが7月23日～8月2日の間に開かれました。参加応募はたくさんありましたが、今回は小学1～2年生30名、3～4年生30名に限らせていただきました。応募者が多数であった飼育体験クラスはヤギ舎とロバ舎のそうじ、体の手入れ、エサの準備などを主にしてもらいました。

見学のクラスは飼育係の案内でいろんな動物の説明を聞いたり、エサをやったりしました。

両クラスとも暑い中、汗をふきふき最後までがんばってもらいました。「動物たちと仲良くなれた」「動物の名前や性質がよくわかった」「来年も参加したい」などの感想が多く、夏休みの楽しい思い出となったようです。

最後に、園長より修了証書、バッヂを受けとり、どの子供も大喜びで帰っていきました。

新着動物一覧

— 3月21日～9月30日 —

※寄贈動物

■ほ乳綱

●有袋目

カンガルー科 ダマワラビー
クスクス科 ※ ハイイロクスクス①

■霊長目

キツネザル科 エリマキキツネザル
ワオキツネザル
オマキザル科 ※ フサオマキザル②
※ シロガオオマキザル②
※ ジェフロイクモザル②
キヌザル科 ※ コモンマーモセット②
※ ワタボウシバンシェ③
セマダラタマリン
アカタマリン
オナガザル科 アジルマンガベ
※ ブラッサゲノン④
パタスザル
マンドリル
※ アビシニアコロブス④
シルバールトン
ショウジョウ科 ※ オランウータン⑤
チンパンジー

●食虫目

アルマジロ科 ※ コノオビアルマジロ⑥

●ゲツ歯目

リス科 アメリカアカリス
オグロプレーリードック
※ ミケリス⑦
ビーバー科 アメリカビーバー
カビバラ科 カビバラ

●食肉目

アライグマ科 ※ キンカジュ⑧

イタチ科
ネコ科
イヌ科

●奇てい目

ウマ科

●偶てい目

ウシ科

■鳥綱

●シギダチョウ目
シギダチョウ科 カンムリシギダチョウ

●コウノトリ目

ハシビロコウ科 ※ ハシビロコウ④

●ガンカモ目

ガンカモ科

レッサーパンダ

※ カナダカワウソ⑨

オセロット

タヌキ

※ フェネック⑩

ウマ(ベルシュロン)

ロバ

※ ヤギ(ミミナガヤギ)⑪

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

※ ハシビロコウ④

●オオ目

オオム科 ヒワコンゴウインコ
ルリコシボタンインコ

●ホトトギス目

エボシドリ科 ニシムラサキエボシドリ

●キヌバネドリ目

キヌバネドリ科 アカハシカサリキヌバネドリ

●ブッポウソウ目

カワセミ科 ※ アオショウビン⑧

●キツツキ目

ゴシキドリ科 ゴシキドリ

●スズメ目

カザリドリ科 アンデスイワドリ

ペルーイワドリ

ムクドリモドキ科 ムクドリモドキ

マキバドリ

カエデチョウ科 ベニスズメ

ヘキチョウ

キンバラ

ギンバラ

ジュウシマツ

アミメスズメ

シマベニスズメ

キンカチョウ

キュウカンチョウ

オオシチホウ

クロシチホウ

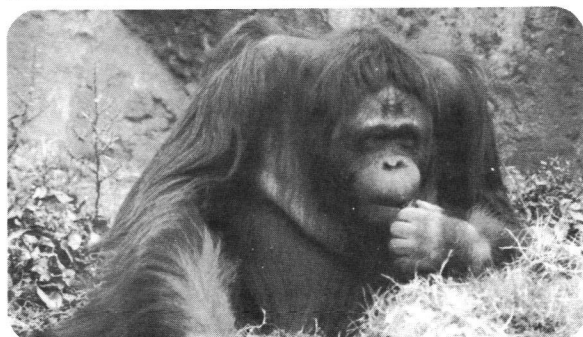
■は虫綱

●カメ目

ヌマガメ科 ニホンイシガメ

リクガメ科 アルダブラゾウガメ

寄贈者 ①バプアニューギニア ②(財)日本モンキーセンター ③実験動物中央研究所 ④ウガンダ ⑤シンガポール ⑥アメリカヒューストン市
⑦徳山市立徳山動物園 ⑧静岡市立日本平動物園 ⑨カナダノースバンクーバー市 ⑩東京都恩賜上野動物園 ⑪フェニックス自然動物園 ⑫東京都
井の頭自然文化園 ⑬千葉公園 ⑭札幌市円山動物園 ⑮フィリピンケンソン市



オランウータン



ヤクの親子

出生動物一覧

— 3月21日～9月30日 —

(右の数字は出生数を示す)

3月14日	クジャクバト	1	5月9日	カイウサギ	12	6月26日	ミニブタ	2
3月23日	ジャコウビンバト	1	"	ガチョウメサカツラガン	1	"	テンジクネズミ	4
3月28日	"	2	5月12日	カイウサギ	9	6月27日	"	5
4月1日	ムフロン	1	"	"	3	6月28日	"	5
4月3日	エラブオオコウモリ	1	5月14日	ヒツジ(ヨツツノ)	1	6月29日	ニホンザル	1
4月4日	ヤギ(雑)	1	5月19日	ニホンザル	1	7月5日	テンジクネズミ	5
4月12日	"	4	5月29日	"	1	7月11日	ミニブタ	4
4月13日	テンジクネズミ	1	5月31日	"	1	7月18日	"	2
4月19日	"	1	"	カイウサギ	2	7月25日	チンチラ	2
4月22日	ヤギ(雑)	1	6月5日	ニホンザル	1	8月11日	ヤギ(雑)	2
"	ニホンザル	1	6月6日	ヒツジ(コリデール)	1	8月28日	"	1
4月26日	テンジクネズミ	3	6月11日	ヒツジ(サフォーク)	1	9月3日	テンジクネズミ	2
4月29日	"	4	6月15日	ヤク	1	9月7日	"	3
5月1日	ヒツジ(ヨツツノ)	1	6月24日	ミニブタ	2	9月24日	オセロット	1

飼育日誌から

1985年3月21日～9月30日

4月25日 開園セレモニー
4月26日 ニューカッスル予防注射
4月28日 一般開園
6月1日 ウマ削蹄
6月16日 パシピロコウを子供動物園に展示
6月22日 ヒツジ 毛刈り開始
6月30日 ヒツジ 名札つけ
7月4日 ヤギ5頭、ミミナガヤギ♂(死亡)中毒
7月7日 サマースクール受付
7月8日 第1回飼育研究会
7月15日 スイギュウ朝から池にいる
7月16日 検見川公民館家庭教育教室 大人約40名



池の中のスイギュウ

健康管理センターから

健康管理センターは通称「病院」と呼ばれています。でも病気の動物ばかりがいるわけではありません。新しく動物公園にやって来た動物たちはみんな、病気にかかっていないかどうかを調べるために健康管理センターに来ます。これを検疫といいます。

現在はココノオビアルマジロ3頭、ハイイロクスクス2頭、ワオキツネザル3頭などが検疫を受けていますが、今回はアルマジロについてお話ししましょう。

姉妹都市であるアメリカのヒューストン市の動物園からやってきたこのアルマジロたちですが、いっしょに飼育係の人の手書きの詳しい経歴書も送られてきました。雄の名前はパンザー、英語で戦車の意味です。雌の大きい方はアーマ、雄と同じくらいの大きさですが顔は少しほっそりしています。ちびの雌はビクトリアといい、まだ生後半年くらいです。

野生下のアルマジロは、昼間寝ていて夕方から虫などの餌を探しにうろつき始めるのですが、この3頭も時差ボケも何のその(?)、着いた翌日から午前中はいつも寝ています。アーマはモコモコとしたワラの山を作り、その中にもぐって寝ているのに、他の2頭はワラをさんざんけちらかし、ケージの床の上で横に丸くなって寝ています。ケージのあけ閉めなど音をたててもしっかりと眠っている彼らも、午後2～3時になる

7月23日 サマースクール体験クラス、小学1～2年
7月26日 サマースクール体験クラス、小学3～4年
7月30日 サマースクール見学クラス、小学1～2年
8月2日 サマースクール見学クラス、小学3～4年
8月4日 動物映画会 約300名
8月5日 第2回飼育研究会
8月9日 ヤギ名札つけ
8月14日 映画「ゆかいな仲間」上映 約200名
8月20日 図書室試験的オープン
8月23日 千葉大学博物館学研修 30名
8月25日 動物写生教室開催
9月1日 図書室試験的オープン終り
(12日間で計2994名利用)
9月2日 第3回飼育研究会
9月4日 アルマジロ、クスクス贈呈式



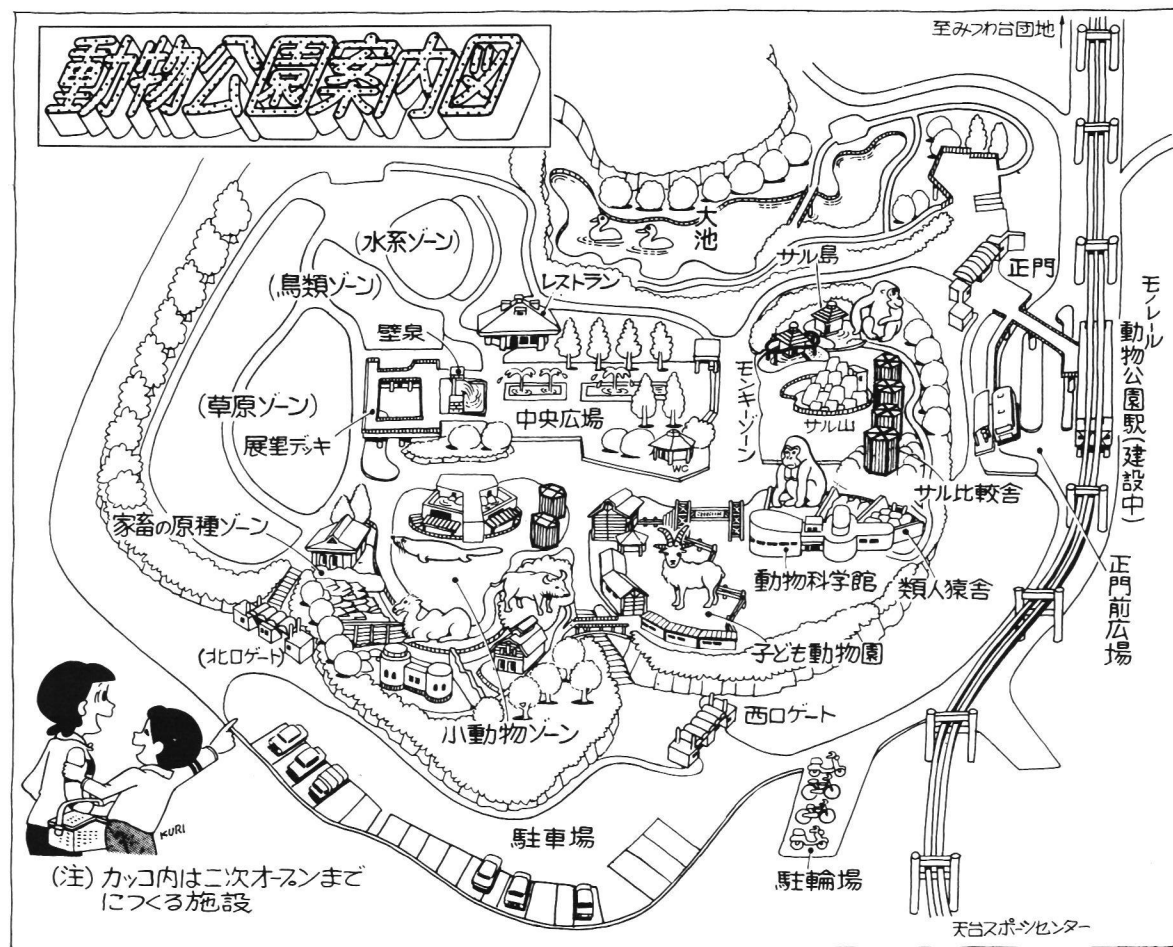
図書室で本を読む子供たち

と、モソモソ、ガサガサと動き出します。着いて間もないころは探検のつもりなのか、ケージの網を上まで登っていったはそのままだスン!!と落ちることもありました。それほど背の高いケージではないためけがはしませんでした。経歴書によるとビクトリアは前にこれでしっぽにけがをしたというのです。また、このちびのビクトリアは時々ピョンピョンとびはねますが、アルマジロは真上に50cm位ジャンプするそうです。犬用の肉の缶詰に牛乳をまぜた餌を入れてやると、待ってましたとばかり長い舌でピチャピチャ食べだすがビクトリア。パンザーときたら、両手を餌入れにかけ頭をつっこんで食べ始めるので、いきおい余って餌入れをひっくり返し、鼻の頭は餌だらけとなってしまいます。でもこぼれた餌も全部たいらげます。アーマは餌の時間がきても寝ていることが多く、餌を入れてケージをしめてもビクリともしません。あれ、具合でも悪いのかな?と心配していると、鼻をヒクヒクさせて起きだして食べ始めます。やがてあたりが暗くなると、彼ら3匹のガサゴソ、ドスンピークに達し、戸締りの後で、まだ誰か中にいたかな?とかん違いすることたびたびです。

今は検疫もすんで、このアルマジロたちは動物科学館の夜行性動物舎へひっこしました。そこは昼と夜が逆転していますから、またガサゴソ、ドスンの続きが見られるなど楽しみです。

行事予定表

行事名	開催日	内容
クイズラリー	10月10日	動物を見ながらクイズに答えます。
作文コンクール	10月10日 ～10月20日	動物とのふれあいを題材にした作品を募集します。
紙ねんど教室	10月20日	紙ねんどで動物を作ります。(作品は11月4日まで科学館で展示。)
写真コンクール	11月10日 ～11月30日	動物公園で撮影した写真を募集します。
ポスターコンクール	11月10日 ～11月30日	動物公園をテーマにしたポスターを募集します。
正月特別展	1月4日 ～1月31日	干支にちなんだパネル展示と講演を行ないます。



- ▶開園時間 午前9:30～午後4:30 (入園時間は午後4:00まで)
- ▶入園料 大人(高校生以上)500円 小人(小・中学生)100円 小学生未満無料
(団体) 有料人員30名以上は2割引
- ▶休園日 月曜日(月曜が祝日のときは翌日) 年末年始12月29日～1月3日
- ▶駐車料金 普通車500円 大型車2,000円